



## 民生委員児童委員・主任児童委員さんが改選されました

民生委員・児童委員のみなさんは、厚生労働大臣から委嘱を受けた身近な相談役です。地域の生活困窮者、心身障がい者、児童、高齢者等に関する問題を抱える方からの相談を受けるとともに、関係機関、専門機関を紹介します。



氏名(新任・再任)	担当地区
吉澤千恵子 再任	新里町(一区・二区・神郷・四区西新里街道南側)
飯塚 高子 新任	新里町(久武・沢・三区・新里団地・四区西新里街道北側)
鈴木 利行 再任	新里町(大堀・岩本・フラワーニュータウン)
仙田美知子 再任	岩原町・宝木ニュータウン
松本 京子 新任	宝木本町(足次・高谷林・藤岡・仁良塚・悟理道の一部)・野沢北
岡田和希子 新任	宝木本町(悟理道晃宝通り北側)
駒場ヤス子 再任	宝木本町(悟理道東南部)・宝木本町団地東部
安部 清 再任	宝木本町(悟理道南中央部)・宝木本町団地西部・宝木本町宝(一部)
高野 雅之 再任	宝木本町(悟理道南西部)・宝木本町宝(一部)・ニュー宝木

氏名(新任・再任)	担当地区
岩崎 幸夫 再任	宝木本町(仁良塚・東北道西部)
砂川 繁 再任	宝木本町(仁良塚・東北道東部)
田崎香代子 再任	野沢町(県営野沢住宅・サマーランド)
戸室 康子 再任	野沢町北部(公民館通り北側)
数馬 敏明 再任	野沢町南部(公民館通り南側)
山岸美智明 再任	野沢町東部(北道路東側)
小室 礼子 新任	野沢町(野沢東・野沢西・野沢並木台)
伊藤三千代 再任	主任児童委員(晃宝小通学地区)
櫻井 孝久 新任	主任児童委員(国本中央小・国本西小通学地区)

## くにもとまつり — 文化祭・農業祭 —

令和4年

11月13日

【場 所】 国本地区市民センター  
【主 催】 くにもとまつり運営委員会

今年は、地域最大のイベントである「くにもとまつり」を3年ぶりに開催することができました。

当日は、天候が心配されましたが、地区内小中学校や各サークルによる作品展示、ステージ発表などに加え、新鮮な野菜の直売や抽選会の実施など、さまざまな催しが行われ、予想を上回る人出で大変な賑わいを見せました。

また、会場の検温や受付では国本リーダースクラブ(KLC)の中学生がスタッフとして参加し、元気と明るい笑顔で地域が一体となったまつりを盛り上げてくれました。

コロナ禍のため2年間開催できずにいた「くにもとまつり」ですが、来場した皆さんが、この地域交流イベントを思い思いに楽しむ姿を見ていると、住民同士のつながりや賑わいを欲していることを実感し、次年度もコロナと共存しながら、地域の一大イベント「くにもとまつり」を開催したいと思いました。



# 歩け歩け大会

令和4年  
12/4  
[場 所] 多気山不動尊・大谷平和観音等  
[主 催] 国本地区体育協会  
[参加者] 18名・体協役員8名

コロナ禍で中止になっておりました歩け歩け大会ですが、久しぶりに実施することができました。当日は、天候に恵まれ体育協会役員の先導のもと大谷方面へ行ってきました。

国本地区市民センターを朝9時に出発、一つ目の経由地多気山不動尊に到着し、皆さんの健康祈願の御祈禱をしていただきました。法螺貝の音色、護摩を焚いての御祈禱で身体から悪いものがす〜となくなるような気がしました。(笑み)

御祈禱を終えて参道あじさい坂を下り次の経由地ベルテラシェ大谷へ。ここまでで約5km皆さん疲れた顔も見せず元気な様子でベルテラシェ大谷へ到着。ここで休憩、お土産を買ったり軽い食事をとったり各々が自由な時間を過ごしておりました。

大谷平和観音への通りでは、ちょうどクリスマスマーケットが開かれていてクリスマス気分をあげることができました。大谷平和観音から大谷寺の前を通り川沿いを歩き国本地区市民センターへ全行程約10km、皆さん元気にゴールすることができました。ご参加ありがとうございました。



# 第12回 ふれあいウォーク

令和4年  
11/26  
3年ぶりに開催!  
[場 所] 国本地区市民センター (約6km)  
[主 催] 国本地区づくり振興会生涯学習部会  
[参加者] 54名 (スタッフ含)



令和元年は雨天で、令和2・3年はコロナで中止となつた「ふれあいウォーク」は、54名(ほぼ半数は小学生)の参加をいただき、3年ぶりに開催することができました。天気が心配されましたが若干降られた程度で、参加された皆さんは、野山を見ながらのんびり歩き、友達とおしゃべりをしたり史跡では説明を聞いたり、自分たちの住む国本地区の豊かな自然と歴史に触れながら深まる秋を楽しみました。

ゴール後の参加者アンケートでは、「いままで知らなかった国本の歴史や地理を知ることができた」「地域の人と交流ができた。友達と一緒に歩いて楽しかった」「ほどよく疲れた。運動になった」などのご意見をいただき、コロナ禍であっても、やはりこうした交流イベントは地域にとって必要であると再認識しました。

約6km 国本地区市民センター→今宮神社→野州人車軌道跡→藤本館→岩本磨崖仏(宇都宮市民遺産認定)→国本地区市民センター

# 令和4年度 くにもと生き生き教室(防災講座) 「気象予報士に学ぶ天気と防災のこと」

令和4年  
11/5  
[場 所] 国本地区市民センター (ホール1・2)  
[主 催] 国本生涯学習センター・国本地区づくり振興会  
[参加者] 70名(自治会長・各種団体長・避難所運営ボランティア・国本地区住民)  
[講 師] 福嶋真理子氏(フリーアナウンサー・気象予報士・防災士)



「NHK宇都宮とちぎ630」でおなじみの気象予報士で防災士でもある福嶋真理子さんを講師にお迎えし、高気圧と低気圧の仕組み、雲の種類と天気、そして台風や線状降水帯のでき方と注意点、避難情報と水害や地震時の避難方法等々、天気(気象)と災害の関係や防災についてのお話をいただきました。

参加された皆さんは、福嶋氏の知識に裏付けられた分かりやすい解説と聞きやすくユーモアあふれる話しぶりに引き込まれ、真剣にその知識を吸収しようとしていました。やはり防災への関心は高く、改めて防災知識の普及啓発の必要性を強く感じました。



# 令和5年 二十歳を祝う成人のつどい

晴れやかに開催!  
1/8  
[場 所] ホテル東日本宇都宮  
[主 催] 宇都宮市二十歳を祝う成人のつどい国本中学校区会場実施委員会  
[参加者] 120名

成人年齢が18歳になったことに伴い、今回から「二十歳を祝う成人のつどい」と名称を変え、昨年同様コロナウイルス感染対策を徹底し実施されました。

国本中学校卒業生5クラス150名のうち120名が参加し、厳肅な雰囲気の中、前半の式典の成人代表による「誓いの言葉」では、成人としての思いと決意が力強く述べられ、後半の地域交流事業の「お礼の言葉」では、これまでお世話になった地域や恩師、家族への感謝の気持ちが心を込めて伝えられました。その後、恩師からのお祝いの言葉を皮切りに会場は和やかな雰囲気となり、あちらこちらで恩師や級友との歓談の花が咲いていました。

成人の皆さんのあふれる笑顔を見てみると、若い力って素晴らしい、どんな時でも希望をもって力強く前に進んでいくことを確信することができました。成人の皆様は今後ますますの活躍を心からお祈り申し上げます。



# 無病息災を願う ドンド焼き

1/8  
[主 催] 岩本自治会(角山会長)  
[参加者] 50名

岩本自治会(角山会長)では、令和5年1月8日(日)無病息災・地域の安寧を祈願しドンド焼きが開催されました。

午後5時30分に、3名の子供会代表により点火が行われ勢いよく炎が舞い上がり、周辺から集まった約50名の老若男女の身体と心を温めました。コロナに負けず一年を元気に過ごせるよう願いを込めて作った藪玉(米粉で作る団子)を焼いて食べながら語り合い、約1時間後無事終了しました。

国本地区で唯一残る岩本のドンド焼きを末永く続けていただきたいと思います。



# くにもとyou遊 club

1/21  
[場 所] 国本地区市民センター 調理実習室  
[主 催] 国本生涯学習センター  
[参加者] 国本地区在住の小学生と保護者 9組

国本地区の小学生とその保護者を対象とした講座「くにもと you 遊 club」でねぎ味噌まんじゅうとあんこまんじゅうを作りました。ねぎ味噌まんじゅうは国本地区食生活改善推進協議会の方が考案したおまんじゅうで、新里町で江戸時代から作られている新里ねぎを使ったおまんじゅうです。

ほとんどの参加者がねぎ味噌まんじゅうを食べるのが初めてで、どんなおまんじゅうができるのだろうかとかワクワクしながらねぎを細かく刻んだり、小麦粉をこねていました。たくさん刻んだねぎを油で炒め、砂糖と味噌で味付けをして更に炒めました。香ばしいねぎの匂いで、ますますおまんじゅうが楽しみになったようです。

生地をのせると、丸い形だけでなく餃子の形にするなど好きな形で包んでいました。蒸し器で蒸しあがると、歓声があがりました。持ち帰って地元の美味しいねぎを使ったねぎ味噌まんじゅうと、甘いあんこまんじゅうを味わって食べたことでしょう。



# LRT体験見学会に参加して

令和4年  
10月22日

【場所】富山市 【主催】市LRT企画課  
【参加者】国本地区づくり振興会・関係団体  
代表者10名 市職員3名

市として、市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」の基軸となるLRT(次世代型路面電車システム) 事業について理解を深めるため、富山市のLRT車両の乗り・降りの体験会が行われました。

富山市に到着後、富山市の路面電車について説明を受け、実際に走行する様子を見学しました。音声や信号により電車の接近を知らせていました。

実際に乗車してみると、路面電車の乗り場はスロープがあり、電車の床面と同じ高さで、車いすの方も乗り降りがスムーズにできていました。

ただ、富山市の路面電車は下車口が前方車両の一方所であったり、振動と揺れが大きく、必ずしも乗り心地がいいとは言えませんでした。その点、市のLRTは改善されるということです。さらに、乗降箇所と他の交通機関との乗り継ぎの利便性や利用性の向上を工夫してほしいと感じました。



## 国本の歴史と文化

### 第五話 「野沢村の歴史」③

#### “野沢町に祀られている二柱の神社”



野沢町での稲づくりは弥生時代中期前半頃から始まり、中世・近世へ脈々と続き、江戸時代の天保年間(1830年代)には農家は15戸数で石高は299石余の収穫量があったと記録されている。(江戸時代の米一石の価格は約一兩で、一石は大人一人当たりの年間消費量<一石は約150kg>であったと言われる) 水田経営の源は「水」。この水源を守るため、江戸時代の延享年間(1744年代)に東弁天沼の北側に「水を司る神」**巖島(いつくしま)神社**(主祭神:市杵島姫命(いちきしまひめのみこと))を祀り、水を絶やさず周辺の水田を潤したと言われる。現在も、沼の水は釜川の源流としてとうとうと流れ、市街地に残る貴重な自然環境となっている。

**星宮神社**は村を開き・田畑を切り開く鎮守の神として、延享3年(1746年)に祀られ、主祭神は「岩をも裂く」と言われる**磐裂神**(いわさくのかみ)と「木の根をも裂くほどの凄まじい威力を持つ神」と言われる**根裂神**(ねさくのかみ)で、村民が魂を込めて祀った**産土神\***(うぶすながみ)である。

巖島神社の例祭は氏子により11月第1日曜日に。星宮神社の例祭は11月23日に野沢町自治会の一大行事として行われている。



\*産土神  
生まれた土地の守り神  
(氏神・鎮守の神と同義)

令和5年3月

宇都宮市文化財調査員 川村泰一

### 国本地区データ

総世帯数 **6,373**世帯

総人口 **15,038**人

[男 7,447人 女 7,591人]

(令和5年2月末日現在)

### 編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。  
年齢・経験は問いません。

【問合せ】国本地区市民センター TEL.665-2942

【編集・発行】国本地区づくり振興会

〒320-0075 宇都宮市宝木本町1868番地1 (国本地区市民センター内) TEL 665-2942 FAX 665-7225

住めば  
愉快だ  
宇都宮